

## ごみの減量・資源化に関する事業所アンケート

事業者のみなさまには、平素から越谷市の廃棄物行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、ごみ（一般廃棄物）についての基本的な事項及び施策を定める「越谷市一般廃棄物処理基本計画」の新たな策定に向けて作業を進めています。特にごみの減量・資源化に向けては、市民・事業者・行政の協力・連携が不可欠であり、これまで以上に施策・取り組みを進めていく必要があります。

本アンケート調査は、事業者のみなさまの貴重なご意見をお聞きし、実効性の高い計画を策定するための基礎資料としたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査へのご協力をよろしく願いいたします。

令和2年（2020年）3月  
越 谷 市

### 【ご記入にあたって】

1. このアンケートは、越谷市内の事業所から無作為で抽出した 500 事業所をお願いしています。
2. このアンケートは、調査票が届いた事務所・店舗等で行っているごみ・資源の出し方や分別についてお答えください。
3. 回答の内容は、全て統計的に処理しますので、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ありません。
4. 調査票をご記入のうえ、3月〇日（〇）までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。（切手は不要です）
5. アンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いします。

問い合わせ先：越谷市役所 環境経済部 リサイクルプラザ

電話：048-976-5371

FAX：048-976-5372

**あなたの事業所について**

問1 あなたの事業所はどの業種に該当しますか（○は1つ）

1 建設業	2 製造業
3 電気・ガス・熱供給・水道業	4 情報通信業
5 運輸業、郵便業	6 卸売業、小売業
7 金融業、保険業	8 不動産業、賃貸業
9 学術研究、専門・技術サービス業	10 宿泊業、飲食サービス業
11 生活関連サービス業、娯楽業	12 教育、学習支援業
13 医療、福祉	14 その他（ ）

問2 あなたの事業所の形態はどれにあてはまりますか（○は1つ）

1 販売店、店舗	2 飲食店
3 事務所、営業所	4 工場、作業所
5 倉庫、配送センター	6 ホテル、旅館
7 病院、医療機関	8 映画館、劇場、会館、娯楽施設
9 美容院、理容店	10 デパート、スーパー
11 コンビニエンスストア	12 その他（ ）

問3 従業員は何人ですか（非正規従業員含みます）（○は1つ）

1 1～4 人	2 5～9 人
3 10～19 人	4 20～29 人
5 30～49 人	6 50～99 人
7 100～299 人	8 300 人以上

問4 あなたの事業所の所在地は、どの地区ですか。（○は一つ）

1 桜井地区	2 新方地区	3 増林地区
4 大袋地区	5 荻島地区	6 出羽地区
7 蒲生地区	8 川柳地区	9 大相模地区
10 大沢地区	11 北越谷地区	12 越ヶ谷地区
13 南越谷地区		

問5 あなたの事業所は経営者や従業員の住まいを併設していますか。（○は1つ）

1 併設している	2 併設していない
----------	-----------

## ごみの排出状況について

問6 あなたの事業所は、廃棄物管理責任者を定めていますか。(〇は1つ)

1 事業所内に定めている	2 本社(本部)に定めている	3 定めていない
--------------	----------------	----------

問7 事業活動に伴って排出されるごみは、産業廃棄物と事業系一般廃棄物に分けられ、それぞれ処理方法が異なります。産業廃棄物と事業系一般廃棄物の区別の違いをご存知ですか。(〇は1つ)

1 知っている	2 ある程度知っている
3 あまり知らない	4 知らない

問8 事業・営業活動に伴って排出されるプラスチック類はどのように排出していますか。(〇は1つ)

1 分別せずにそのまま可燃ごみとして許可業者が収集
2 分別して可燃ごみ収集の時に許可業者が収集
3 分別して廃プラスチック類として産業廃棄物処理業者が収集
4 事務所等が出るものは可燃ごみとして許可業者、工場が出たものは廃プラスチック類として産業廃棄物処理業者がそれぞれ収集

問9 あなたの事業所では、ごみの排出量を把握していますか。(〇は1つ)

1 全て把握している	2 一部は把握している
3 把握していない	

問10 あなたの事業所で、排出量の多いごみは何ですか。(重量を把握していない場合は推測で構いません)(〇は3つまで)

1 生ごみ	2 プラスチック製品	3 発泡スチロール
4 新聞紙・雑誌	5 コピー用紙	6 機密文書
7 段ボール	8 ペットボトル	9 缶
10 びん	11 古布類	12 紙おむつ
13 不燃ごみ	14 粗大ごみ	
15 その他(具体的に: _____)		

**事業所でのごみの減量や資源化について**

問 11 あなたの事業所は、日頃からごみの減量や資源化に取り組んでいますか。(○は1つ)

1 積極的に取り組んでいる
2 ある程度取り組んでいる
3 あまり取り組んでいない
4 取り組んでいないが、今後は検討したい
5 取り組んでおらず、今後もし取り組むつもりはない

問 12 問 11 で 1 又は 2 とお答えした方にお聞きします。ごみの減量や資源化に取り組む理由はなんですか。(○はいくつでも)

1 ごみ処理経費削減のため	2 環境に良いため
3 社会的責任を果たすため	4 会社のイメージアップのため
5 法律で定められているため	6 会社全体で規定されているため
7 その他(具体的に: )	

問 13 問 11 で 1～3 とお答えした方にお聞きします。現在、どのような取り組みを行っていますか。(○はいくつでも)

1 レジ袋の有料化を行っている
2 生ごみ処理機の導入している
3 割り箸やカップ・容器等にワンウェイ製品を使わないようにしている
4 簡易包装を実施している
5 食べ残し・調理くずが少なくなるような工夫をしている
6 繰り返し使用できる製品や、グリーン購入対象品目を使用または生産、販売している
7 資源物(紙、缶、びん、ペットボトルなど)の分別を徹底している
8 店頭回収、資源回収ボックス等を設置している
9 店頭回収、資源回収等を利用している
10 適正な在庫管理を心がけている
11 減量化・再資源化計画を作成している
12 事業所の3Rへの取り組みを積極的にPRしている
13 社員に対して、環境教育を行っている
14 修理やリフォームの案内に関する取り組みを行っている
15 ごみを排出する際に、計量している
16 その他(具体的に: )

問 14 古紙類の減量・資源化にどの程度取り組んでいますか。(○は1つ)

1 積極的に取り組んでいる	2 ある程度取り組んでいる	3 あまり取り組んでいない
4 ほとんど取り組んでいない	5 全く取り組んでいない	

問 15 古紙類の減量・資源化のために今後、取り組みたいことは何ですか。(○はいくつでも)

1 使用済みの裏紙の活用や、両面コピーするなど、紙を有効利用する
2 データ等の電子化等によるペーパーレス化の推進
3 簡易包装の推進
4 古紙類の分別の徹底
5 機密文書の資源化
6 特にない
7 その他(具体的に: )

問 16 今後、減量・資源化をしたいと考えているごみは何ですか。(○はいくつでも)

1 生ごみ	2 プラスチック製品	3 発泡スチロール
4 新聞紙・雑誌	5 コピー用紙	6 機密文書
7 段ボール	8 ペットボトル	9 缶
10 びん	11 古布類	12 紙おむつ
13 不燃ごみ	14 粗大ごみ	
15 その他(具体的に: )		

問 17 あなたの事業所で、ごみ減量や資源化を進めていくうえで主な問題点は何ですか。(○はいくつでも)

1 分別や排出方法のルールが分からない
2 ごみの減量や資源化を行う意義が分からない
3 分別に手間がかかる
4 少量しかごみが出ないため、経済的メリットがない
5 どの業者に依頼すれば適切に資源化できるのか分からない
6 建物の広さや構造等の物理的制約があり、分別して置く場所がない
7 本社(本店)に決定権があるため、資源化に関して指示に従うしかない
8 ごみ処理や資源化について質問や相談する窓口が分からない
9 従業員にごみの減量や資源化の意識を浸透させることが難しい
10 機密文書が多いため、資源化が難しい
11 資源化の費用が高い
12 特にない
13 その他(具体的に: )

問 18 あなたの事業所で、ごみの減量や資源化に関してどのような情報が必要と考えますか。  
(○は3つまで)

1	ごみの出し方や分別方法の情報
2	事業所でできる減量化・資源化の方法
3	ごみ処理業者や資源化を行う業者の情報
4	ごみの問題に関する講演会等の開催情報
5	ごみに関連する法令や条例等の情報や自治体の計画に関する情報
6	他の事業所での取り組み状況や先進的事例の情報
7	特にない
8	その他（具体的に： _____）

問 19 ごみの減量や資源化など、ごみに関する知識や情報は、主にどのようなものから得られていますか。(○は3つまで)

1	収集運搬許可業者やリサイクル業者
2	市のパンフレット、チラシ、ホームページ
3	新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネットなど
4	同業者や業界、加盟団体など
5	行政の説明会など
6	情報を得る手段がない
7	その他（具体的に： _____）

問 20 ごみの減量や資源化を推進するにあたり、市に期待することは何ですか。(○は3つまで)

1	業種別の減量方法を示したマニュアルの作成・配布
2	ごみ減量に積極的に取り組む事業所への表彰・認定制度の創設
4	業者間での情報交換や取り組みの意見交換ができる場の提供
5	事業者と行政の意見交換の場の提供
6	事業者に対する指導や助言
7	特にない
8	その他（具体的に： _____）

## 事業所でのSDGsや環境への取り組みについて

SDGs（エスディーゼーズ：Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標）とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した2030年までに達成を目指す17のゴールと169のターゲットです。

貧困問題を始め、気候変動、生物多様性、エネルギー等、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むべきビジョンや課題が網羅されています。

ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」とゴール12「つくる責任 つかう責任」に廃棄物に関するターゲットが設定されています。

問21 あなたの事業所では「SDGs」（エスディーゼーズ）で達成を目指す17のゴールと169のターゲットのうち、いずれかに取り組んでいますか。（〇は1つ）

1 取り組んでいる	2 取り組んでいない	3 わからない
4 その他（具体的に： _____）		

問22 問21で「1. 取り組んでいる」とお答えになった事業所にお聞きします。取り組まれている活動は「SDGs」（エスディーゼーズ）の達成を目指す17のゴールのどれに該当しますか。（〇はいくつでも）

SDGsの17のゴール		
1	ゴール1	貧困をなくそう
2	ゴール2	飢餓をゼロに
3	ゴール3	全ての人に健康と福祉を
4	ゴール4	質の高い教育をみんなに
5	ゴール5	ジェンダー平等を実現しよう
6	ゴール6	安全な水とトイレを世界中に
7	ゴール7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8	ゴール8	働きがいも経済成長も
9	ゴール9	産業と技術革新の基盤をつくろう
10	ゴール10	人や国の不平等をなくそう
11	ゴール11	住み続けられるまちづくりを
12	ゴール12	つくる責任つかう責任
13	ゴール13	気候変動に具体的な対策を
14	ゴール14	海の豊かさを守ろう
15	ゴール15	陸の豊かさも守ろう
16	ゴール16	平和と公正をすべての人に
17	ゴール17	パートナーシップで目標を達成しよう

問 23 あなたの事業所では環境に関するマネジメントシステムを取り入れていますか。

(○はいくつでも)

1	ISO14000Sを取得している	(国際標準化機構の制度)
2	エコアクション21を取得している	(環境省の制度)
3	エコステージ認証を取得している	(一般社団法人 エコステージ協会の制度)
4	エコアップ認証を取得している	(埼玉県の制度)
5	KES・環境マネジメントシステム・スタンダード認証を取得している	(特定非営利活動法人 KES環境機構の制度)
6	取り入れていない	
7	その他 (具体的に :	)

さいごに

問 24 ごみの減量・資源化に関する市の取り組み等に関して、ご意見があれば自由にご記入ください。

[ ]

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒 (切手は不要) にいれて、令和2年〇月〇日までに、郵便ポストにご投函ください。